

インテリア建材 クローゼット 開き戸タイプ

施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

① 組み立て・取り付け上の注意事項

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

- ・クローゼット開き戸タイプ以外への転用および改造は行なわないでください。
- ・指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ・ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- ・組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと開閉作動が正常に行なうことができることおよび使用上の不具合がないか確認してください。
- ・クローゼット内部に造り付けの棚等を設置される場合は、枠より**20mm**以上はなして設置してください。
- ・引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ・現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- ・本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじの頭が破損したり、つぶれたり、ねじが空回りしたりします。

② 梱包内容の確認

- ・開梱時に種類と数量を確認してください（部品袋の内容にもご注意ください）。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

	本 体	枠
両開き戸 タイプ	<p>扉本体 扉本体 部品袋</p>	<p>上枠 下枠 縦枠 (ベースプレート付き) 縦枠 (ベースプレート付き) 枠部品箱</p>
片開き戸 タイプ	<p>扉本体 部品袋</p>	<p>上枠 下枠 縦枠 (ベースプレート付き) 縦枠 (ベースプレート無し) 枠部品箱</p>

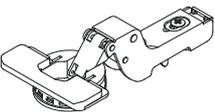
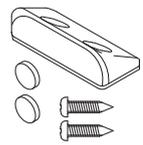
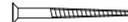
●オプション ケーシングセット

L型タイプ	化粧タイプ
<p>縦用 上用</p>	<p>又は</p> <p>縦用 上用</p>

●本体部品袋詳細

部品		引手	引手取り付けねじ
			
タイプ	呼称		小ねじトラス 4×28×8
両開き戸	7309	2個	4本
	7312		
	7318		
	7320		
	7323		
	8209		
	8212		
	8218		
	8220		
	8223		
	1120		
	1123		
	1320		
	1323		
片開き戸	4318	1個	2本
	4320		

●枠部品箱詳細

部品		丁番	ストッパー	枠組み立て木ねじ	躯体取り付け用木ねじ	
						
タイプ	呼称		・タッピン1種なべ 4×16×7 2本 ・クッション材 2個	専用木ねじ 3.8×51×8	木ねじ皿 3.8×51×8	
両開き戸	7309	4個	2セット	8本	6本	
	7312	6個			10本	
	7318	8個			12本	
	7320					
	7323	4個			6本	
	8209					
	8212	6個			10本	
	8218	8個			12本	
	8220					
	8223					
	1120	10個			10本	
	1123					14本
	1320					10本
	1323					14本
片開き戸	4318	4個			12本	
	4320					

● 枠部品箱詳細

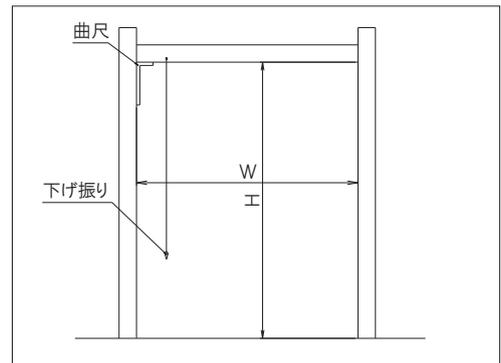
タイプ	呼称	部品	ホールプレート	施工要領書
		下枠取り付け用木ねじ		
		 木ねじ皿 3.1×32×6.2		
両開き戸	7309	2本	8個	1冊
	7312		12個	
	7318		14個	
	7320			
	7323		8個	
	8209			
	8212		12個	
	8218		14個	
	8220			
	8223		12個	
	1120			
	1123		16個	
	1320		12個	
	1323		16個	
片開き戸	4318	14個		
	4320			

③ 開口部の確認

・クローゼット枠取り付け前に、必ず柱の水平・垂直がでているか確認してください。

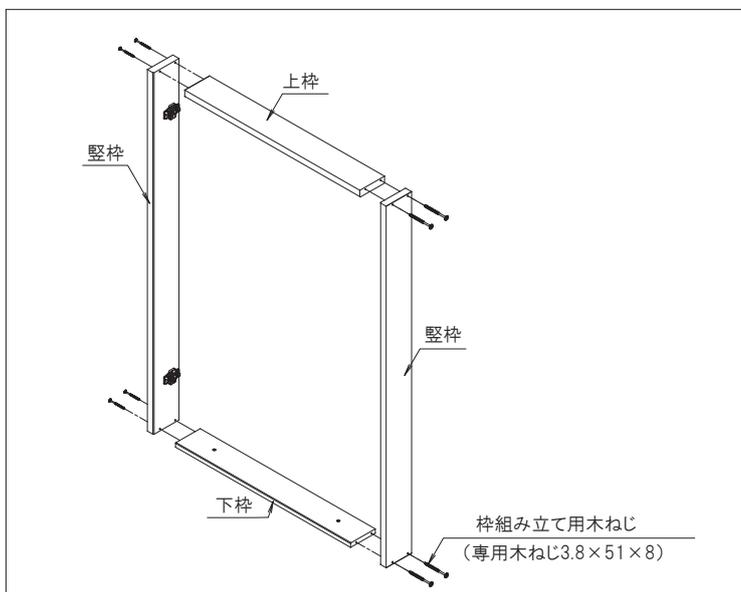
■ 開口部寸法表

開口部W	枠W+5~10mm
開口部H	枠H+3~5mm
	床先張りの場合は 枠H+17~20mm



④ 枠の組み立て

① 上下枠と縦枠を枠組み立て用木ねじ(専用木ねじ3.8×51×8)で固定します。

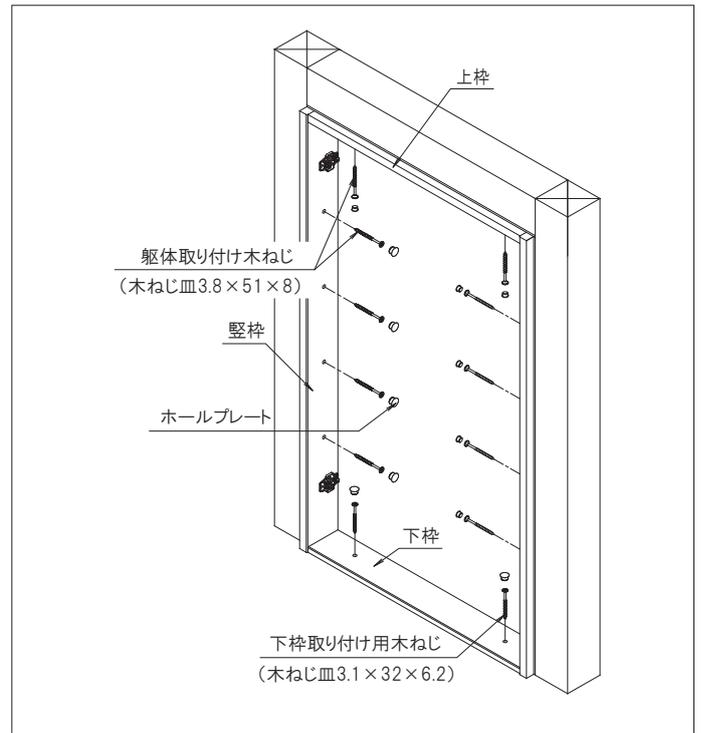


⑤ 枠の取り付け

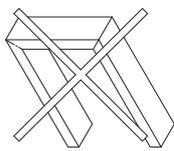
- ① 枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビなどで上下、左右、前後、倒れなどを調整し、位置を決めてください。
- ② 上枠・縦枠は、躯体取り付け用木ねじ(木ねじ皿3.8×51×8)、また、下枠は下枠取り付け用木ねじ(木ねじ皿3.1×32×6.2)で躯体にしっかりと固定し、ホールプレートをはめてください。

※ 躯体が軽量鉄骨の場合は、②と同等のテクスねじ(現地手配)を使用してください。

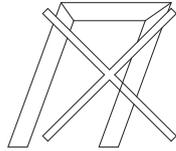
※ 木ねじの場合、軽量鉄骨にねじ込みはできません。



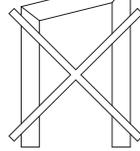
- ※ ① 木ねじ止め時、枠に傷をつけないように止めてください。
- ② クサビなどは、左右4個、上下各2個くらいを平均に使用して調整を行なってください。木ねじはクサビなどがある場所へねじ止めしてください。
 - ③ 施工後の枠が下図のようにならないよう水平・垂直および開口部寸法の確認をしてください。(いずれも±1.5mm以内の施工にてお願いいたします。)



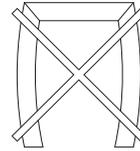
倒れ



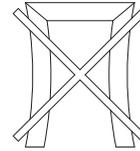
傾き



ズレ



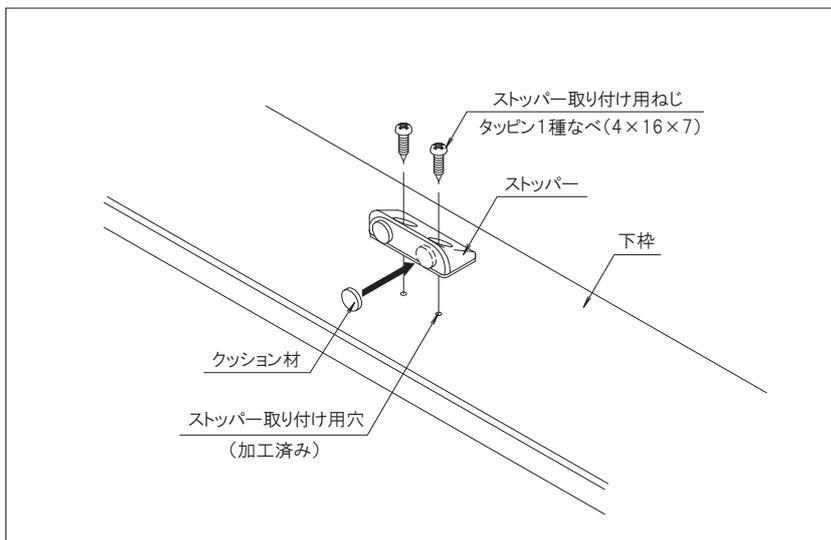
たいこ



つぶみ

⑥ ストッパーの取り付け

- ① ストッパーにクッション材を貼り付けてください。
- ② 上枠と下枠にそれぞれストッパーをストッパー取り付け用ねじ(タッピン1種なべ4×16×7)で取り付けてください。



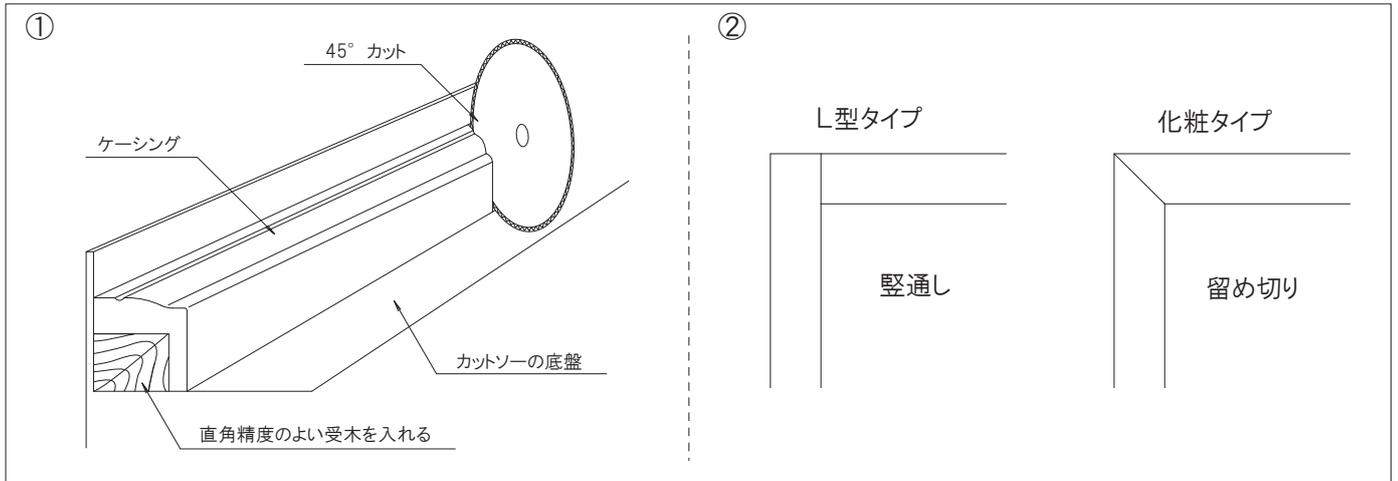
⑦ ケーシングの切断方法

① ケーシング材を現場寸法に合わせてカットしてください。

② 接合部は下図を参考にL型タイプは堅通し、化粧タイプは留め切りにしてください。

※留め切りはケーシングの裏側に直角が出ている受け木を入れ、45° 斜めカットソーで切断すると精度が
 できます。

※ケーシング切断寸法はあらかじめ留め切りにしてある部分を基準にして切断してください。

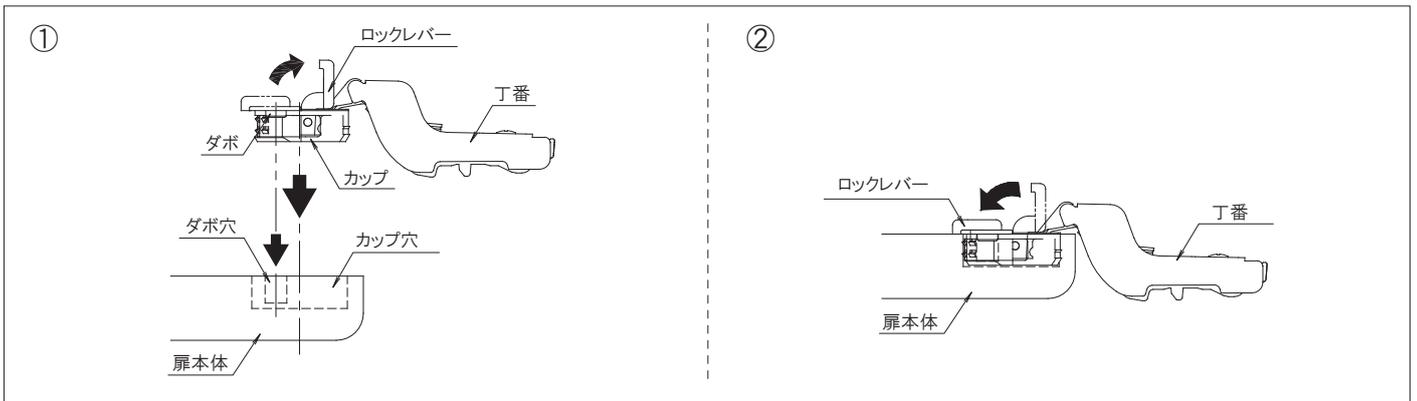


⑧ 本体の吊り込み

① 丁番のロックレバーを矢印の方向に上げ、扉本体の下穴にカップ、ダボを差し込みます。

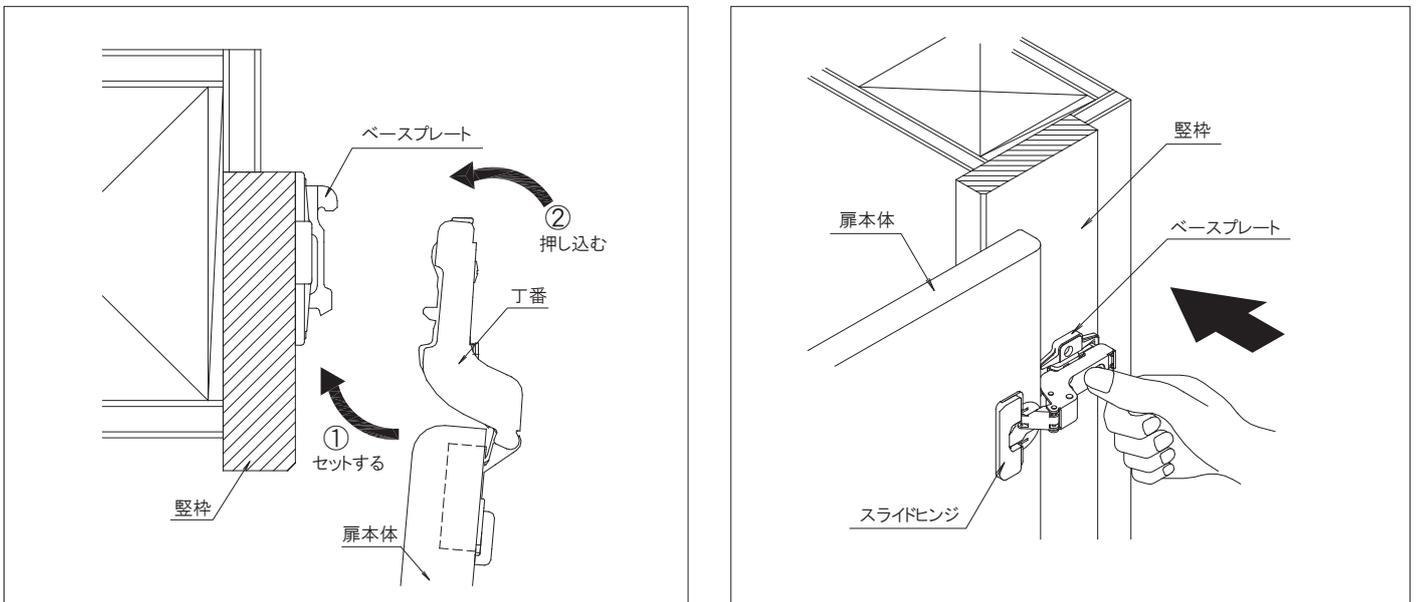
② ロックレバーを矢印の方向にしっかりと押し下げてください。

注 扉本体に確実に押し込んであるか確認してください。扉が脱落するおそれがあります。

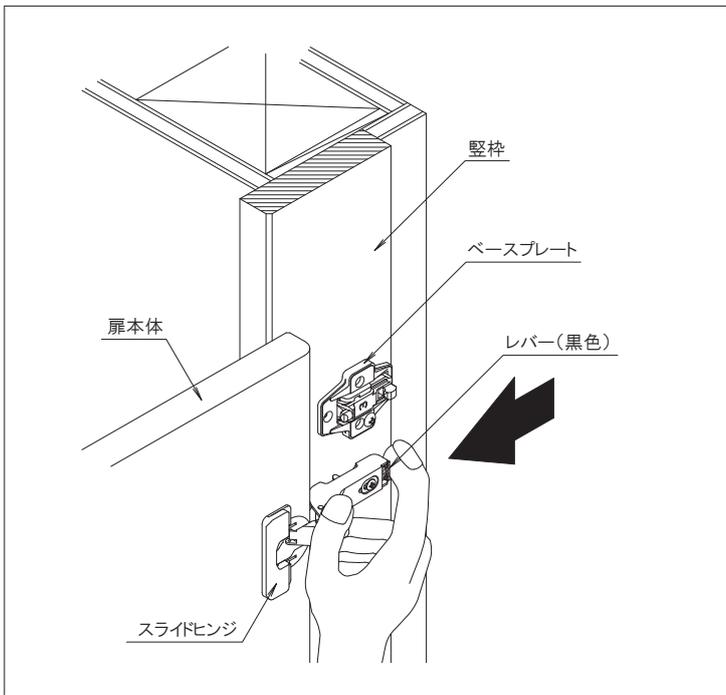


③ 下図のように扉本体を吊り込んでください。

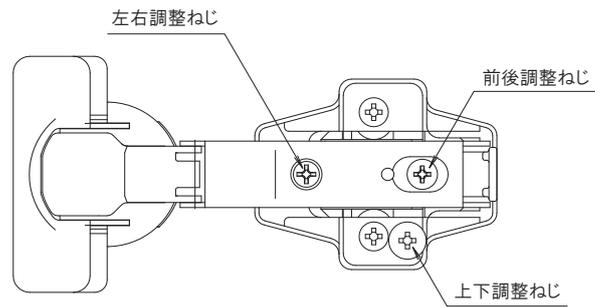
※H12・18・20・23の場合、最初に中間の丁番を吊り込んでから端部の丁番を吊り込んでください。



・扉本体を取りはずす場合、図のように丁番のレバー(黒色)を押し込むとはずれます。



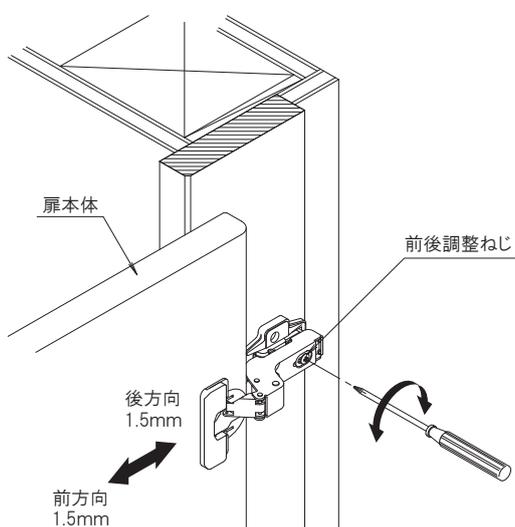
⑨ 本体の調整



● 丁番の調整

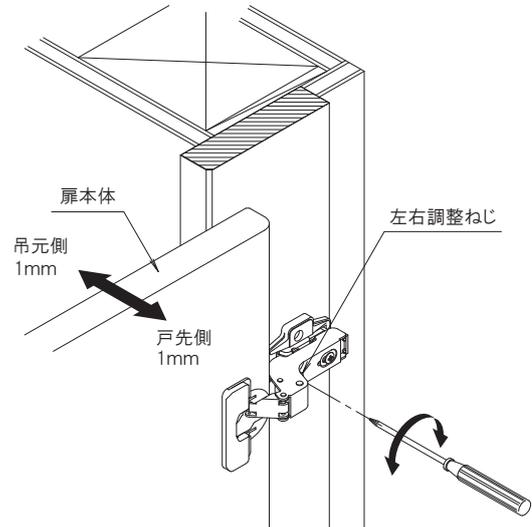
【前後調整】

・前後調整ねじをゆるめ、扉本体を移動させ、
適当なところで調整ねじを固定してください。



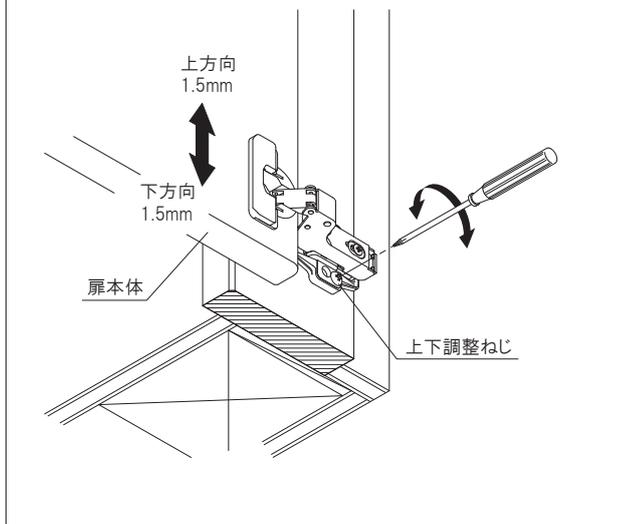
【左右調整】

・左右調整ねじを右に回すと戸先側へ、左に
回すと吊元側へ移動します。



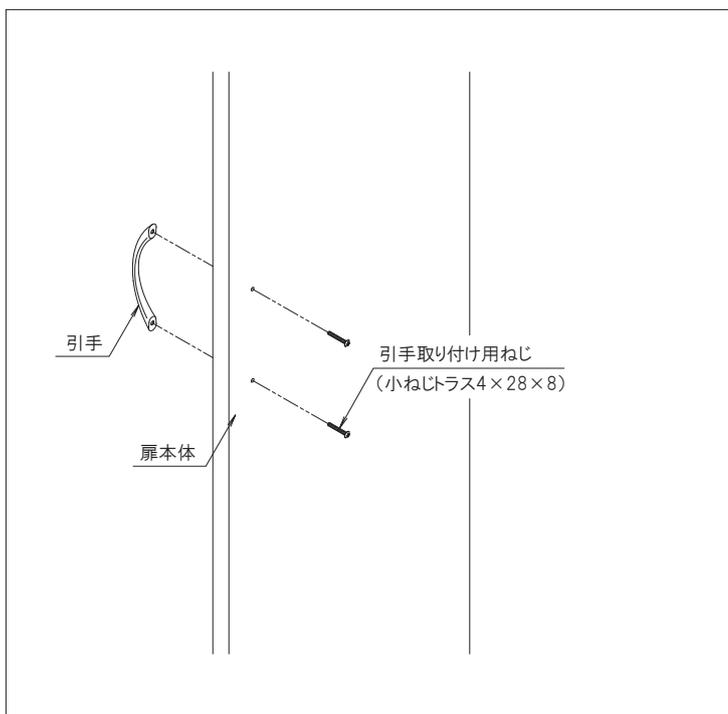
【上下調整】

- ・上下調整ねじをゆるめ、扉本体を移動させ、
適当なところで調整ねじを固定してください。



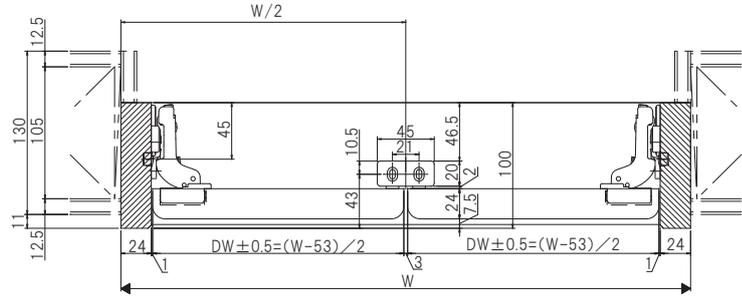
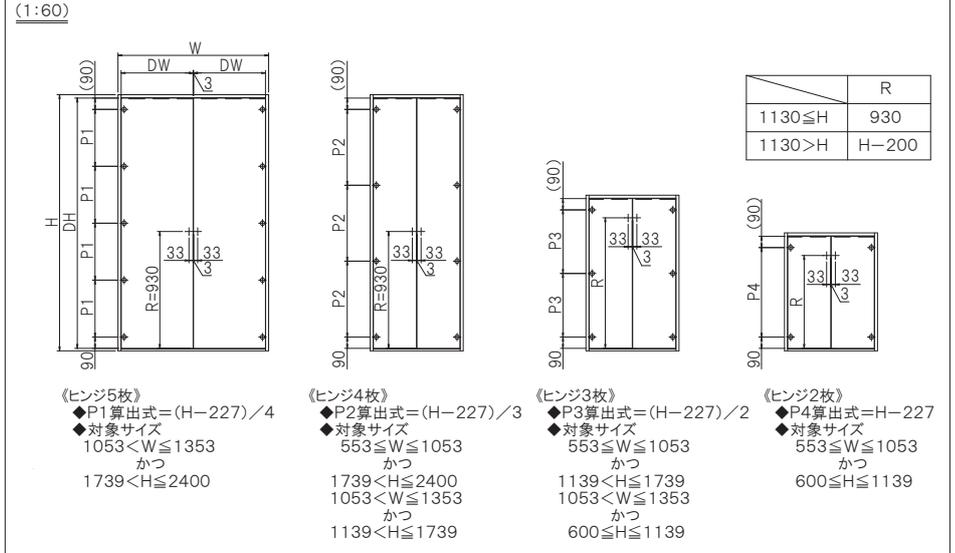
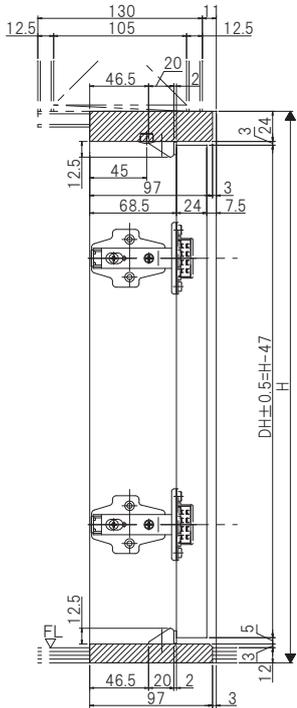
⑩ 引手の取り付け

- ・引手を引手取り付け用ねじ(小ねじトラス4×28×8)で取り付けてください。



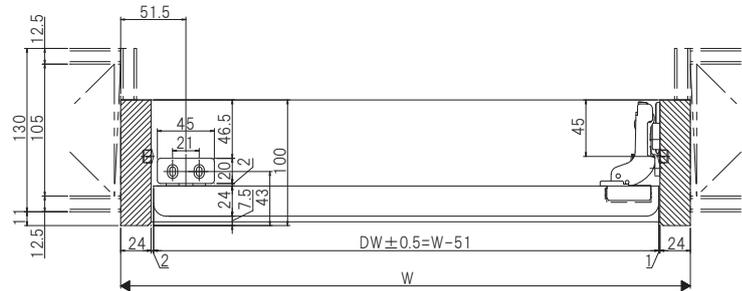
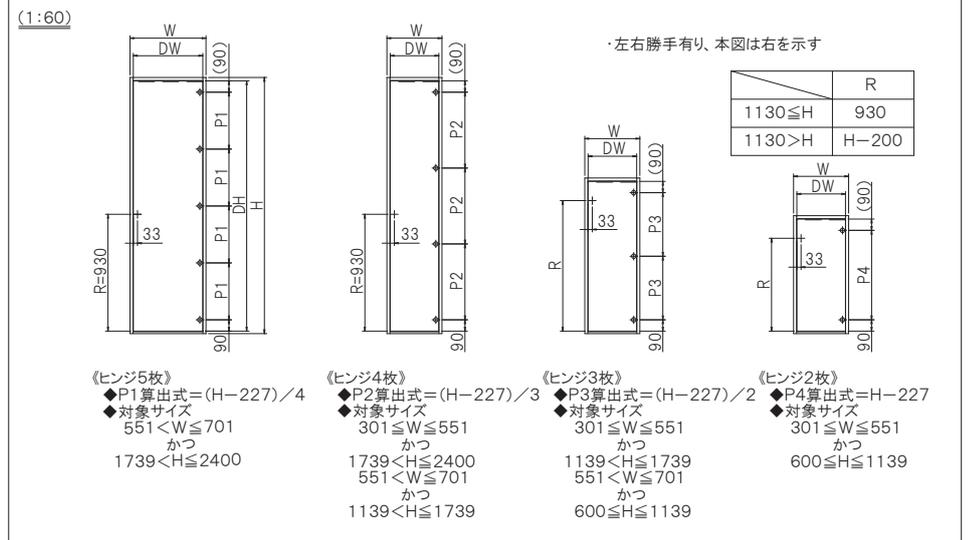
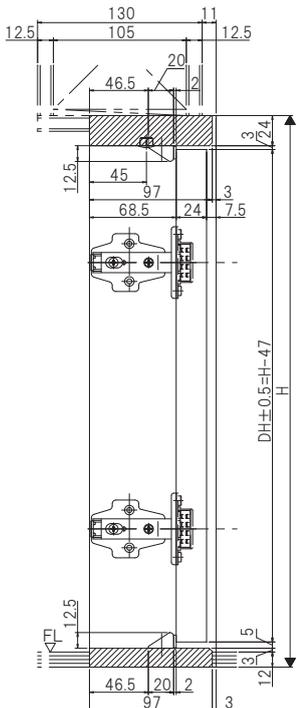
■両開きタイプ

ノンケーシング枠



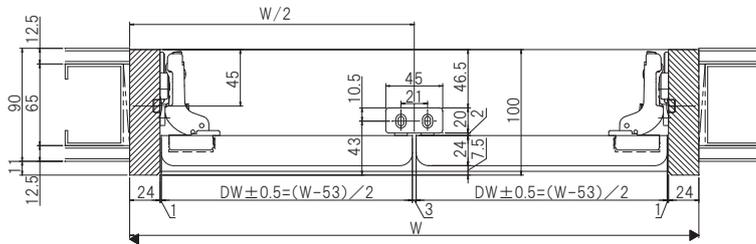
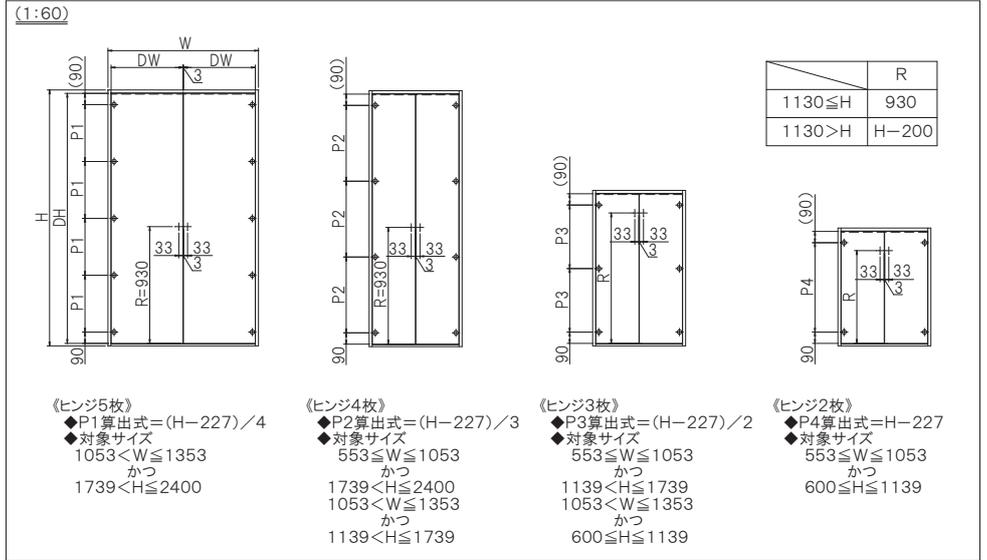
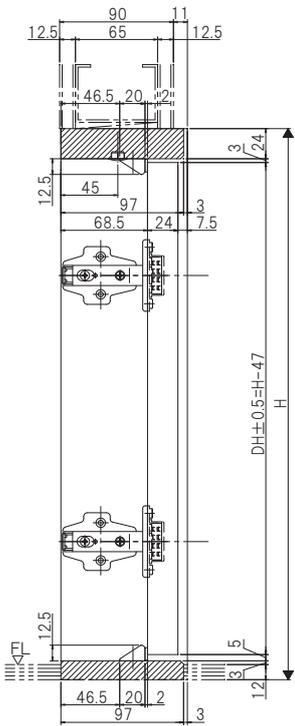
■片開きタイプ

ノンケーシング枠



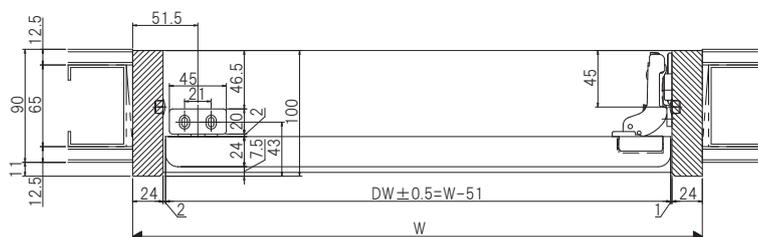
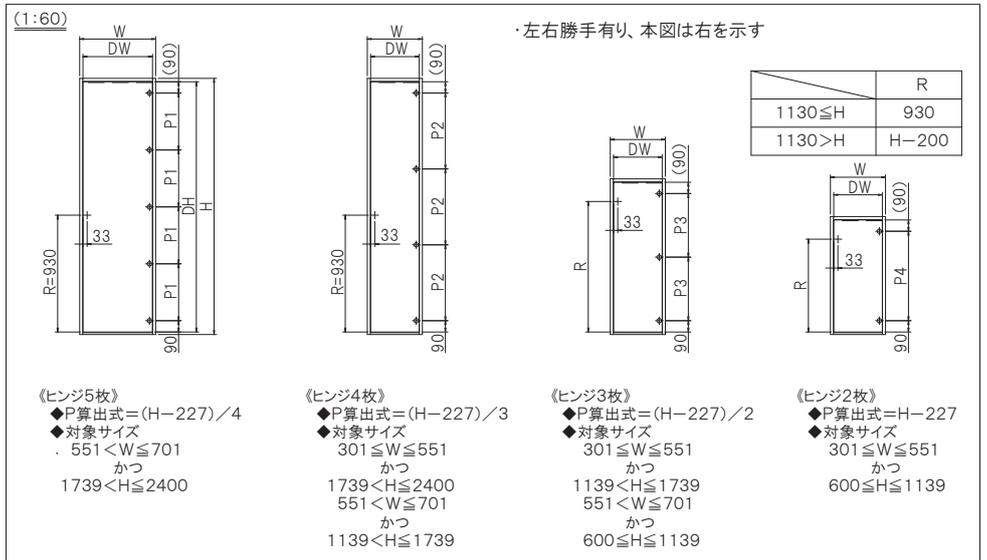
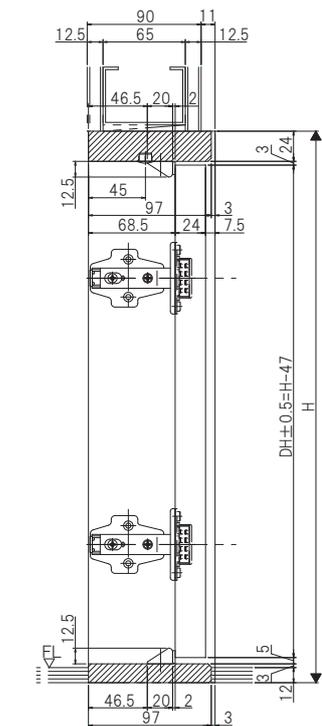
■両開きタイプ

集合住宅



■片開きタイプ

集合住宅



取り付け終了後の確認

■取り付けが完了しましたら、下記の点について確認してください。

取り付けが完了しましたら、本製品が他の現場工事によって破損しないよう梱包資材などを利用して養生しておいてください。

ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、捨てたり燃やしたりせず、回収業者に引き取っていただくようお願いいたします。

